

# 道新りんご新聞 2017/6/1 \*曜日 第28 号

·ムページで平岸のニュースを毎日配信中!

道新りんご

制作元:北海道新聞永田販売所

道新りんご新聞 ラジオ版: FM アップル (76.5Mhz) にて毎月第3木曜日 午前 10 時~放送中

発行元:北海道新聞永田販売所・北海道新聞多畑販売所・道新いかわ

北海道新聞熊谷販売所·北海道新聞野田販売所



第4回. 平岸天神を作った男 中井昭一さん

平岸りんごを育て、その終焉を見届 けた最後の世代。美しい農村地帯が急 速に都会化した中、平岸の開拓精神を 残そうと「平岸天神」を創立しました。

#### ■夏祭りの客寄せからはじまった

昭和60年平岸中央商店街振興組合の 発足に伴い、夏祭りが実施されること になりました。祭りの出し物として太 鼓が演奏されると太鼓の音に引き寄せ られた人々が次々と集まってきました。

「太鼓の集客効果に目を見張った」と いう中井さんは、商店街の若手2名を 北海道を代表する和太鼓チーム「どさ んこ太鼓」に派遣。2年間で寄付金5 00万円を集め、商店街の会員や一般 からも有志を募りました。

先人たちの開拓精神を後世に伝える 意味を込めて、地元天神山の名をとり 「平岸天神太鼓」と名付けました。

中井さんがかつてりんご倉庫に使っ ていたレンガ造りの建物を練習道場と し、毎年7月に開催する平岸郷土芸能 祭など様々な行事で活躍しています。

### ■平岸天神の誕生

平成3年、平岸中央商店街が高知県 から花の提供を受け、平岸街道に植え て高知県の PR をするという「花の架け 橋花見合」事業が行われました。

翌年から札幌で「YOSAKOI ソーラン 祭り」がはじまり、本場高知の大賞チー ムが来札。前年の縁で平岸でも踊りを 披露してくれることになりました。

踊りの迫力に圧倒された中井さんは 「うちでも作ろう」と決意。商店主が資 金集めや踊り手の募集に奔走し、平岸 天神太鼓のメンバーと北海学園大学空 手部の部員が中心となり、郷土を代表 する平岸天神ソーラン踊りチームがこ こに誕生したのです。

#### ■日本一の秘密

平岸天神は YOSAKOI ソーラン祭りで 最多の9回の大賞受賞を誇ります。こ の強さの理由として「一流の人たちが 集まったのが大きい」と中井さんは分 析します。

創設メンバーの北海学園大学空手部 がキレのある踊りを生み出しました。 4 Sと呼ばれる「Speed スピード」 「Sharp 切れの良さ」「Strong 力強さ」 「Smile 笑顔」をモットーにし、妥協の ない練習でエネルギッシュな踊りを作

り上げています。

唄い手は北海道民謡連盟最高師範の 小寺勲鳳さん。踊りに負けない情熱的 な歌と相まって演舞の完成度を高めて います。

#### ■次世代につなぐために

YOSAKOI の会場である平岸街道を国 道から市道に格下げできないか。中井 さんは、こんな意表を突くアイデアを 大まじめで考えています。会場が国道 であるために現在は使用に制約が多く、 長さも約五百メートルに規制されてい るからです。

「市道になれば、占用許可も緩やかに なり、平岸駅から南平岸駅までを会場 にできます。踊りの発表や商店街のイ ベントもしやすくなる」。中井さんの挑 戦はまだまだ終わりません。(伴野卓磨)



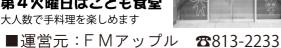
りんご倉庫を改装した平岸天神太鼓道場前で思い出を語る中井昭一さん

## 地域交流サロンぴらけし

月・火・木・金はランチとカフェ 12 時~ 14 時はカレーやうどんなどのランチタイム 14 時~ 15 時はカフェタイム

水曜日は野菜マルシェ プロの八百屋が什入れた新鮮な野菜

第4火曜日はこども食堂





都市づくりの担い手として。 똷 平岸グランドビル 管理物件 ・ラ・ボム平岸

豊平の皆さんと友に地域の安全・安心・活性化を目指し さまざまな情報を発信するコミュニティラジオ局です。

豊平区平岸のスタ<mark>ジオから、お役</mark>立ち情報や地域に 密着した話題を盛り<mark>込んだ豊富</mark>な情報を、個性あふ れるパーソナリティが毎日お送りしています。

